

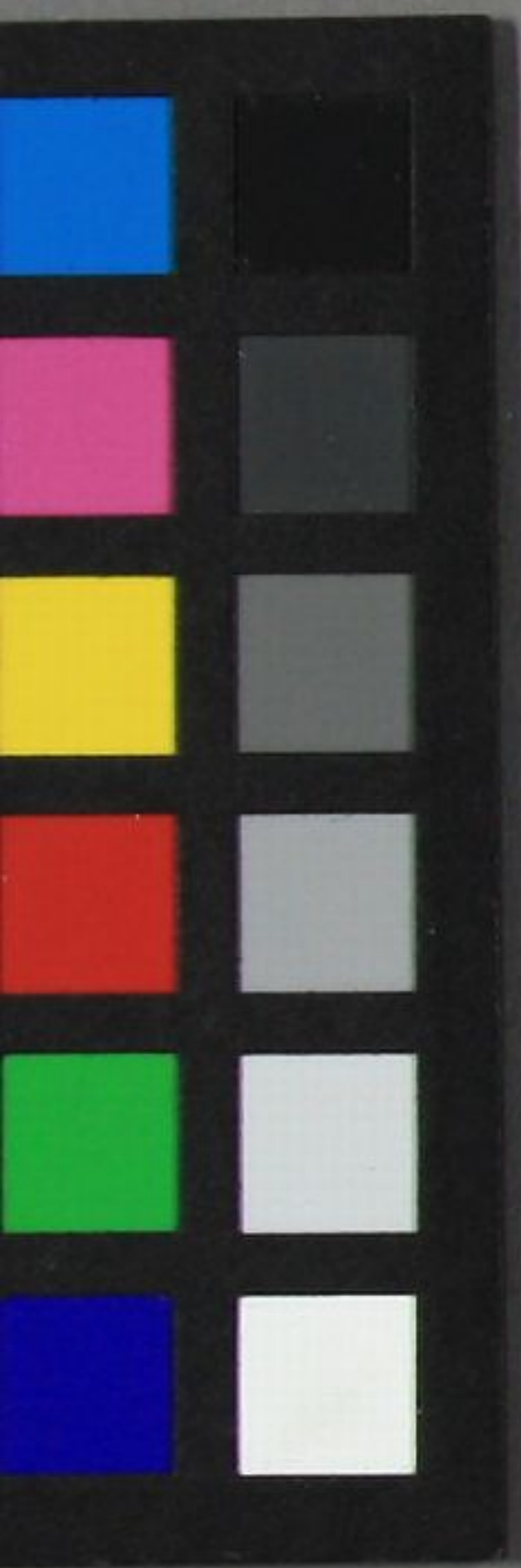


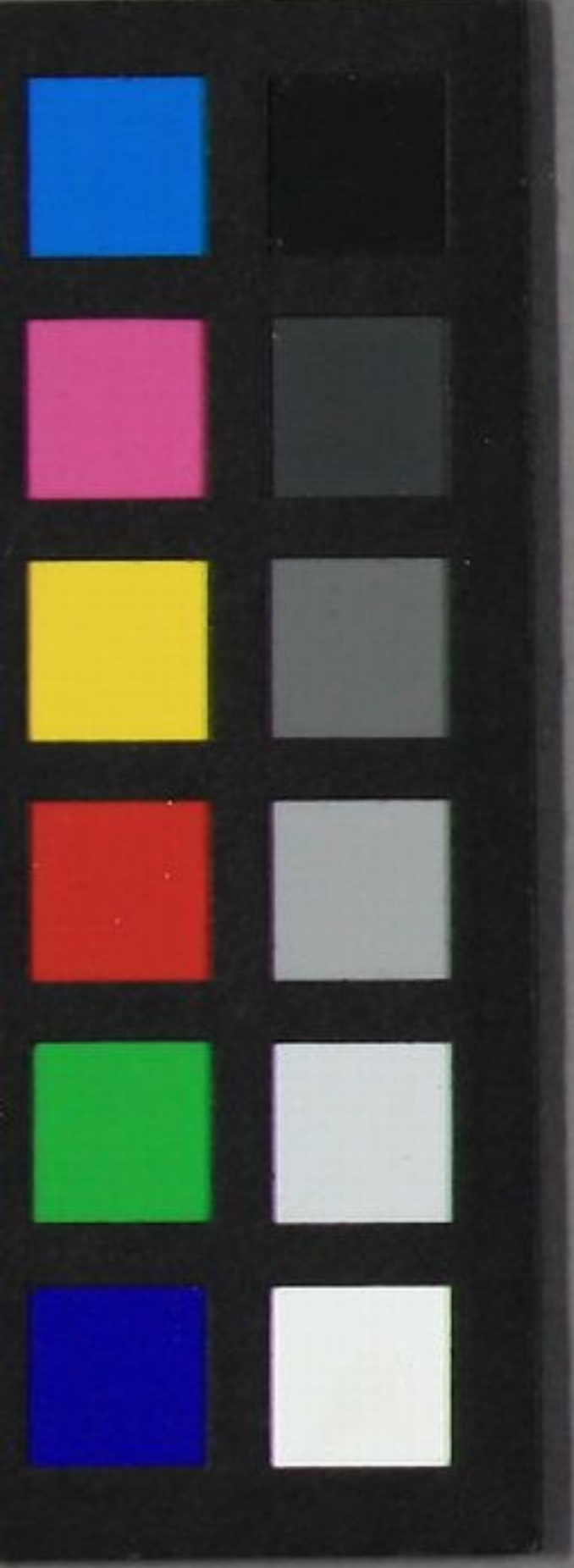
三編下



三編上

錦耕堂板





白雲

二編上

錦耕堂板

Calligraphic text on the left side of the illustration.



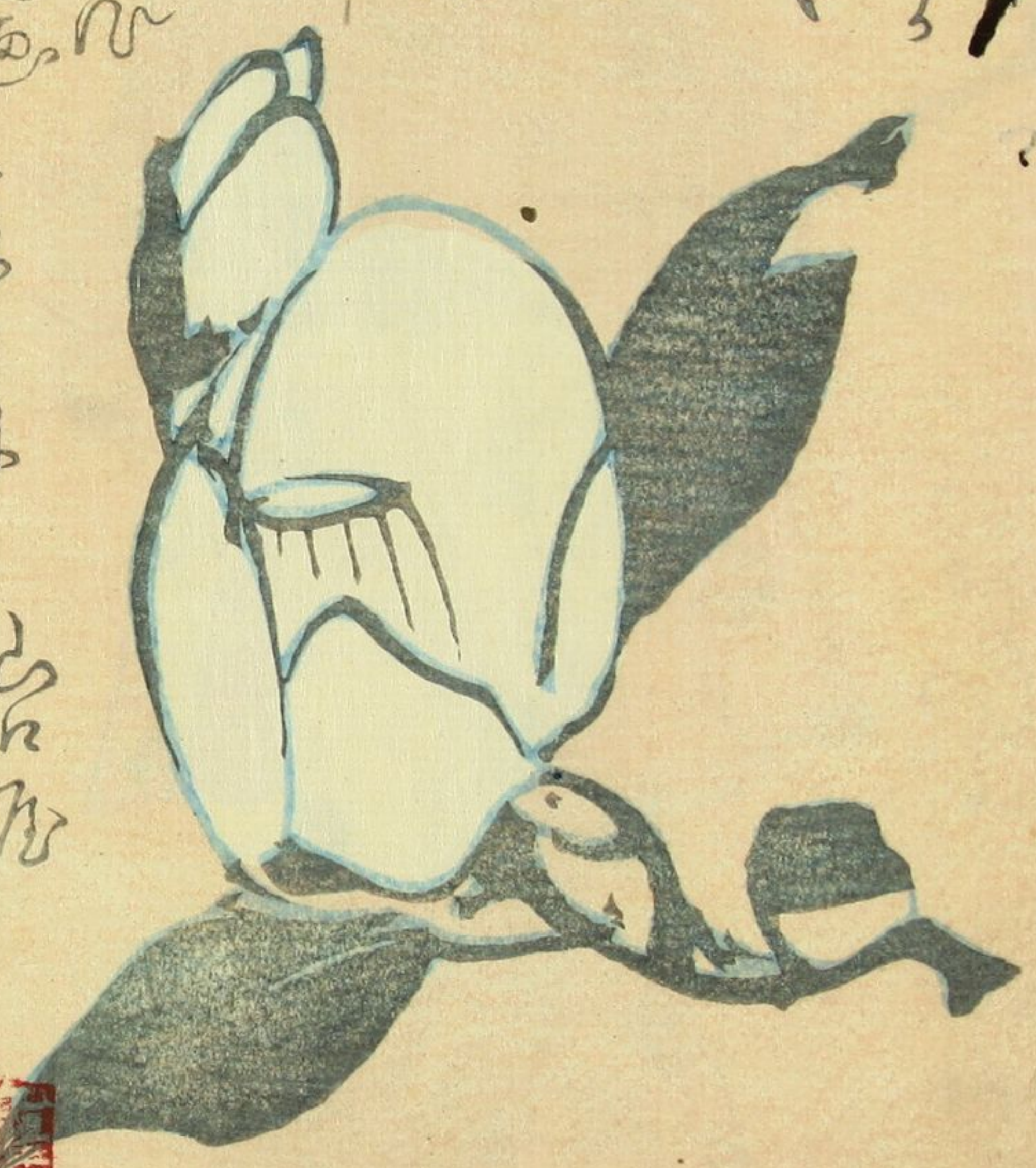
るるる

綾衣

一尋高曲 函西

三海上梅

山石



何支もそのあつ見ざるこ信あはれ者少く人の衣服も昔を語うた誠まことと
 思おもふ事こと多し紫むらさの草足袋あしふく金糸縫きんいとぬいて甚いたく三紅さんこうの朱しゆと奪うばふも
 程ほどもる艶あやを失うひ昔蒲草かきくさの勝武かつぶと通とほ音ねるれ用もちひまればせうも今
 少すくずて草色くさいろの残り花見小袖はなみこそでの九尺くわふち其年そのとし十二月じふにがつと繕つくろせ本年このとしの古ふる衣い
 る着きぬとの自慢こゝろも奢おごり久ひさかたぬの忍しのび傳つたへ又また近頃ちかごろの三布さんぷ前まへ無な袖そで
 羽織はねおりも僅わずかのる未なほ残のこりて絆纏はなむす羽織はねおりも多おほく昔むかし中ちゆう央おう知しる者ものは股引またひきの附袖つけそでと
 取捨とりすてれと腹掛はらかけの隠かくれも這入こゝろ裏うら模様もようの色いろ々々花はなも散失ちりせ四季しき折々せつせつ小
 風俗ふうぶくの変わる糸線いとせんの織おりて袂たもと衣いも流行はやりの添附そへつけんと趣向しゆかうの小こ夫おとこの疑うたがへとも
 時代じだいと世話せわに依よりて美み麗れいも揚あげられ長なが襦じゆ袢たんの長なが途とを略りやくし腰こし巻まき乃なり
 短みづかく切きる春はるもあせんと取急とるいそ横よこ段だん之の揃そろむ綴つづりあはれどとるるるるるるるるるる
 の如ごとく是これもあつる笑わらひとの形かたちなり

嘉永四年辛亥初春新刊

緑亭川柳誌

夾文三編



義満公
の息女
篠原
の姫と
松



河
花
月
あ
は
は

踊
の
師
垣
花

世に名を馳せたる人ありては其の才力も亦世に名を馳せたるなり其の才力も亦世に名を馳せたるなり



日暮るを知らずの人の心

わがやりのあはれみあり
あはれみありありあり
あはれみの月あり

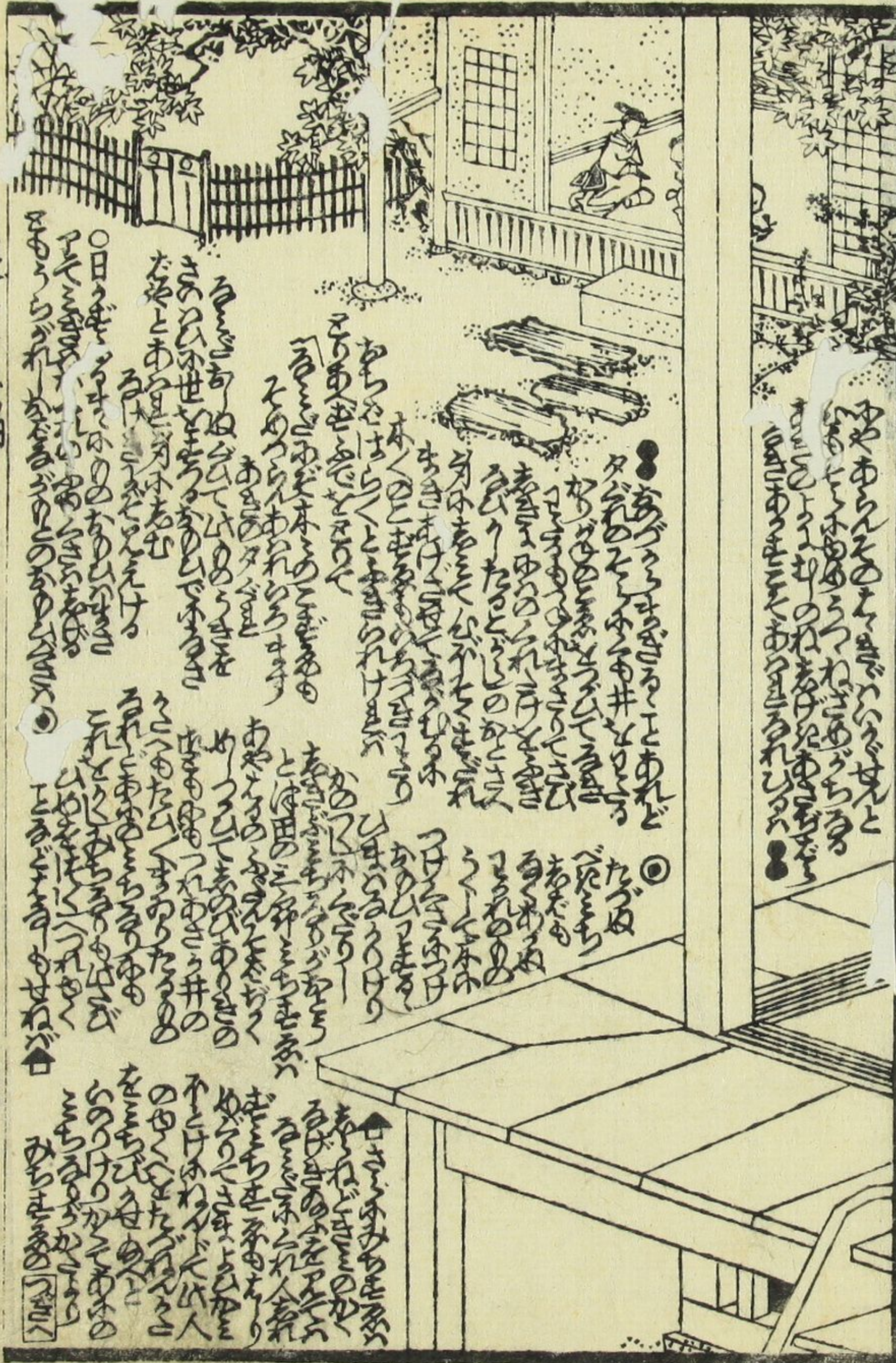
うらむしのこと
あはれみありありあり
あはれみの月あり

世に名を馳せたる人ありては其の才力も亦世に名を馳せたるなり其の才力も亦世に名を馳せたるなり



世に名を馳せたる人ありては其の才力も亦世に名を馳せたるなり其の才力も亦世に名を馳せたるなり

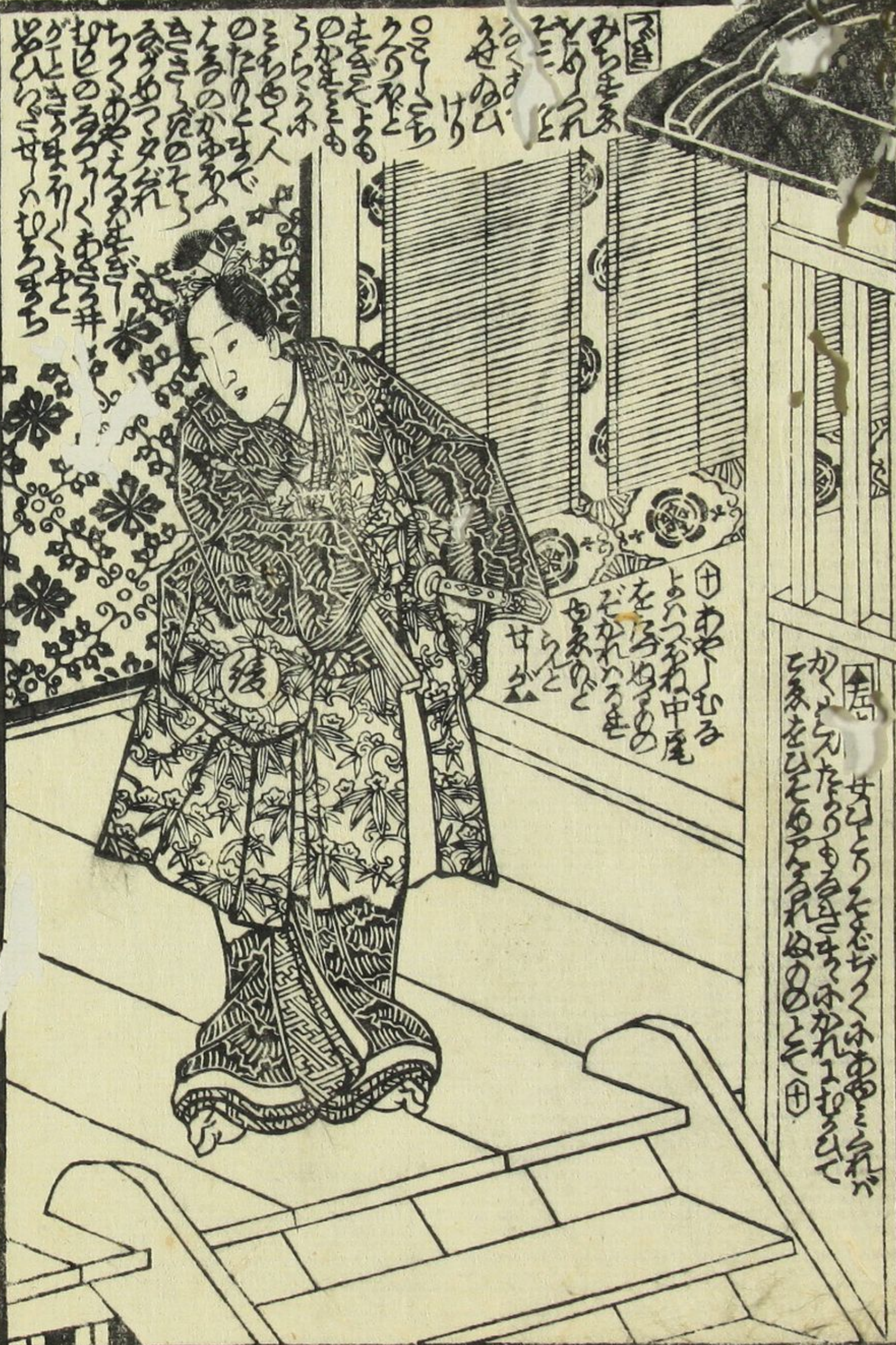
あはれみありありあり
あはれみの月あり



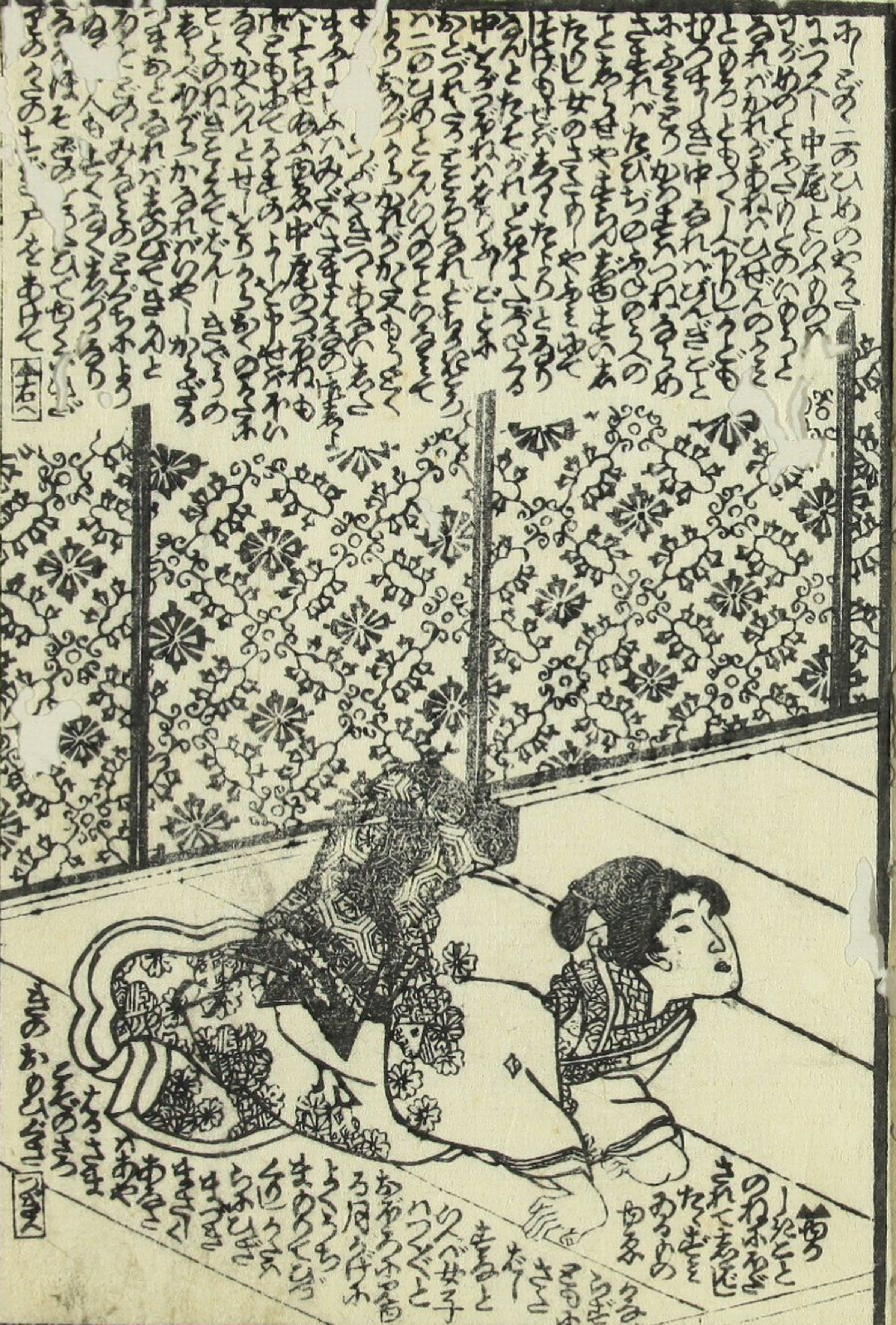
Handwritten Japanese text in vertical columns, surrounding the courtyard illustration. The text includes various characters and symbols, such as circles and squares, interspersed with the main text.



Handwritten Japanese text in vertical columns, surrounding the woman illustration. The text includes various characters and symbols, such as circles and squares, interspersed with the main text.



中尾のこゝろに
つゝ中尾と申す所の
わかれの女はなつかし
いおぼしめし
あつた中尾はなつかし
いおぼしめし
あつた中尾はなつかし
いおぼしめし
あつた中尾はなつかし
いおぼしめし



中尾のこゝろに
つゝ中尾と申す所の
わかれの女はなつかし
いおぼしめし
あつた中尾はなつかし
いおぼしめし
あつた中尾はなつかし
いおぼしめし
あつた中尾はなつかし
いおぼしめし

豊國画川柳作



清書
金川

遊仙杏春雨草紙 十編
一陽齋豊國画

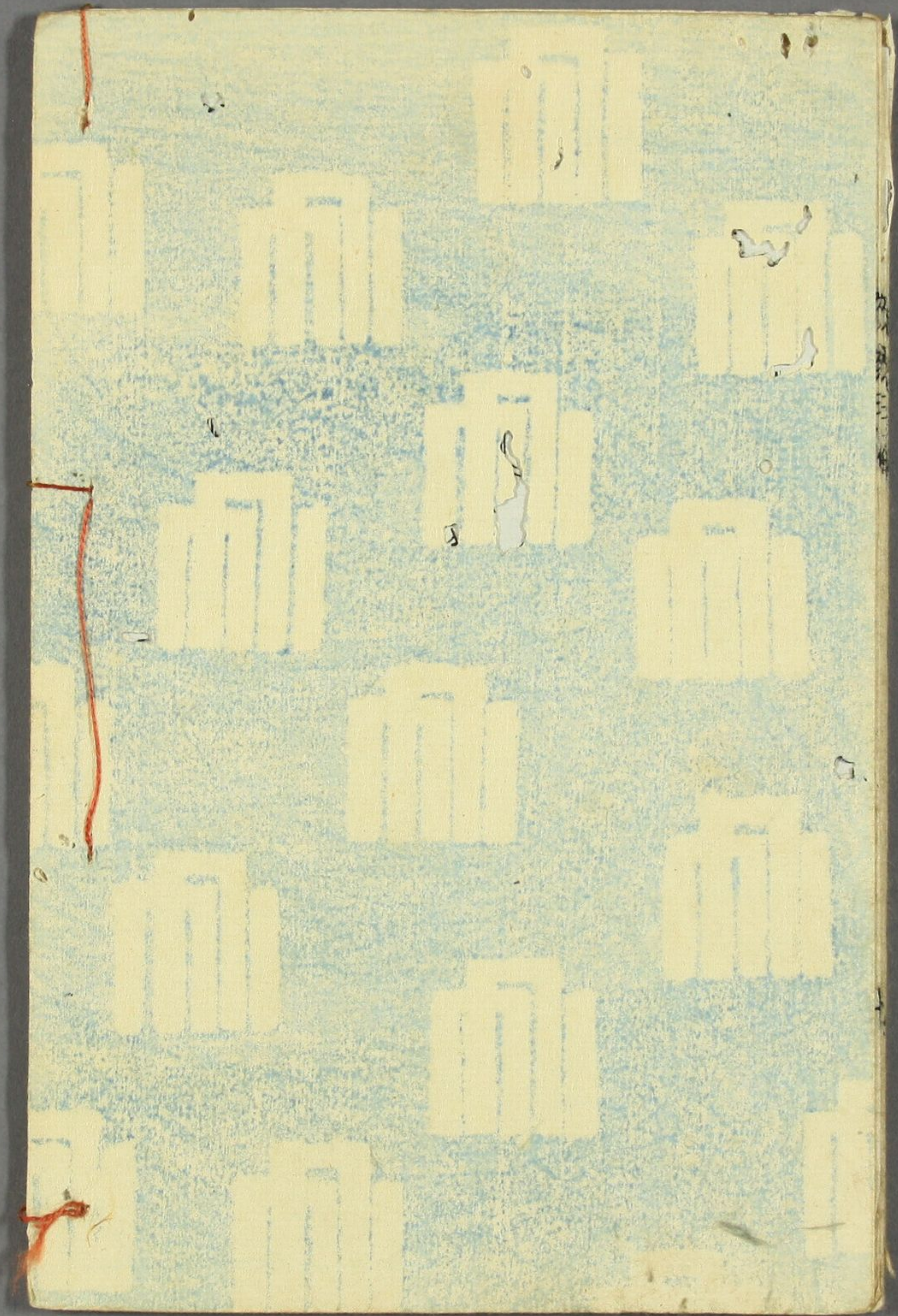
甲舎織糸線袂衣 三編
一陽齋豊國画

義列百人一首 袋入
一冊

畸人百首 川柳輯
近刻

江戸馬喰町三丁目
錦耕堂山口屋藤兵衛版

草紙七編まで去春豊画川柳作...
思ふに...
大武...
流...
古...
又...
又...
軍...
赤...





夕陽
河橋
曲之園
画

三編下



ついでにこれまでいさよきて二の
 ひめあはせんよあはれとたると
 らあのみだせりとにへたさると
 しとゆてさうとこのひめあは
 としやうねどもひめのあは
 さまはよりいさよきてあはれ
 たさうめていさよきてあはれ
 のわやうとさうとさうと
 へうちやうとさうとさうと
 かのりあはれちやうとさうと
 あはれちやうとさうとさうと
 かたさきとさうとさうとさうと
 らあのみだせりとにへたさると
 しとゆてさうとこのひめあは
 としやうねどもひめのあは
 さまはよりいさよきてあはれ
 たさうめていさよきてあはれ
 のわやうとさうとさうと
 へうちやうとさうとさうと
 かのりあはれちやうとさうと
 あはれちやうとさうとさうと
 かたさきとさうとさうとさうと



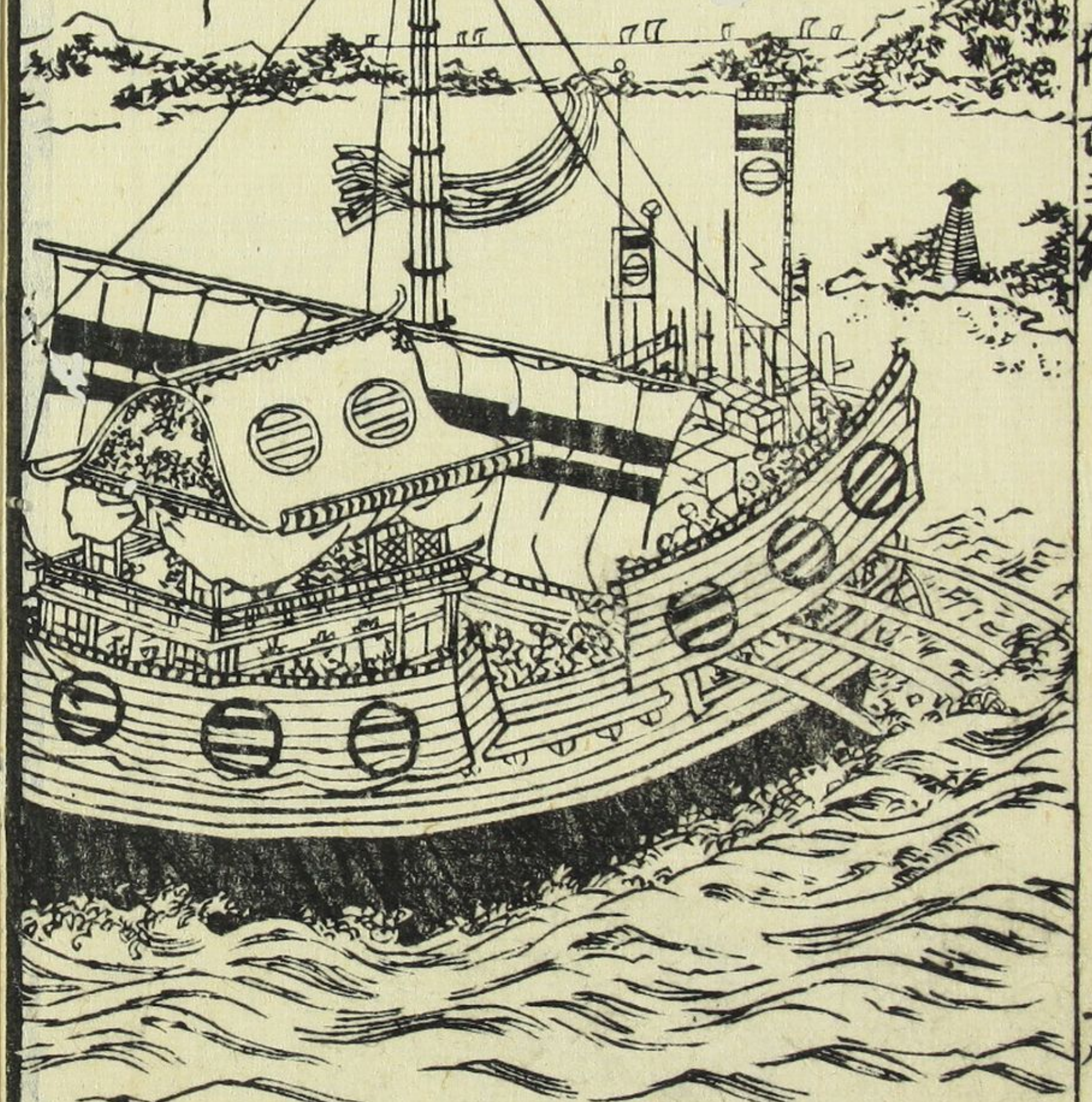
あはれちやうとさうとさうと
 かたさきとさうとさうとさうと
 らあのみだせりとにへたさると
 しとゆてさうとこのひめあは
 としやうねどもひめのあは
 さまはよりいさよきてあはれ
 たさうめていさよきてあはれ
 のわやうとさうとさうと
 へうちやうとさうとさうと
 かのりあはれちやうとさうと
 あはれちやうとさうとさうと
 かたさきとさうとさうとさうと

このあはれちやうとさうとさうと
 あはれちやうとさうとさうと
 かたさきとさうとさうとさうと
 らあのみだせりとにへたさると
 しとゆてさうとこのひめあは
 としやうねどもひめのあは
 さまはよりいさよきてあはれ
 たさうめていさよきてあはれ
 のわやうとさうとさうと
 へうちやうとさうとさうと
 かのりあはれちやうとさうと
 あはれちやうとさうとさうと
 かたさきとさうとさうとさうと



あはれちやうとさうとさうと
 かたさきとさうとさうとさうと
 らあのみだせりとにへたさると
 しとゆてさうとこのひめあは
 としやうねどもひめのあは
 さまはよりいさよきてあはれ
 たさうめていさよきてあはれ
 のわやうとさうとさうと
 へうちやうとさうとさうと
 かのりあはれちやうとさうと
 あはれちやうとさうとさうと
 かたさきとさうとさうとさうと

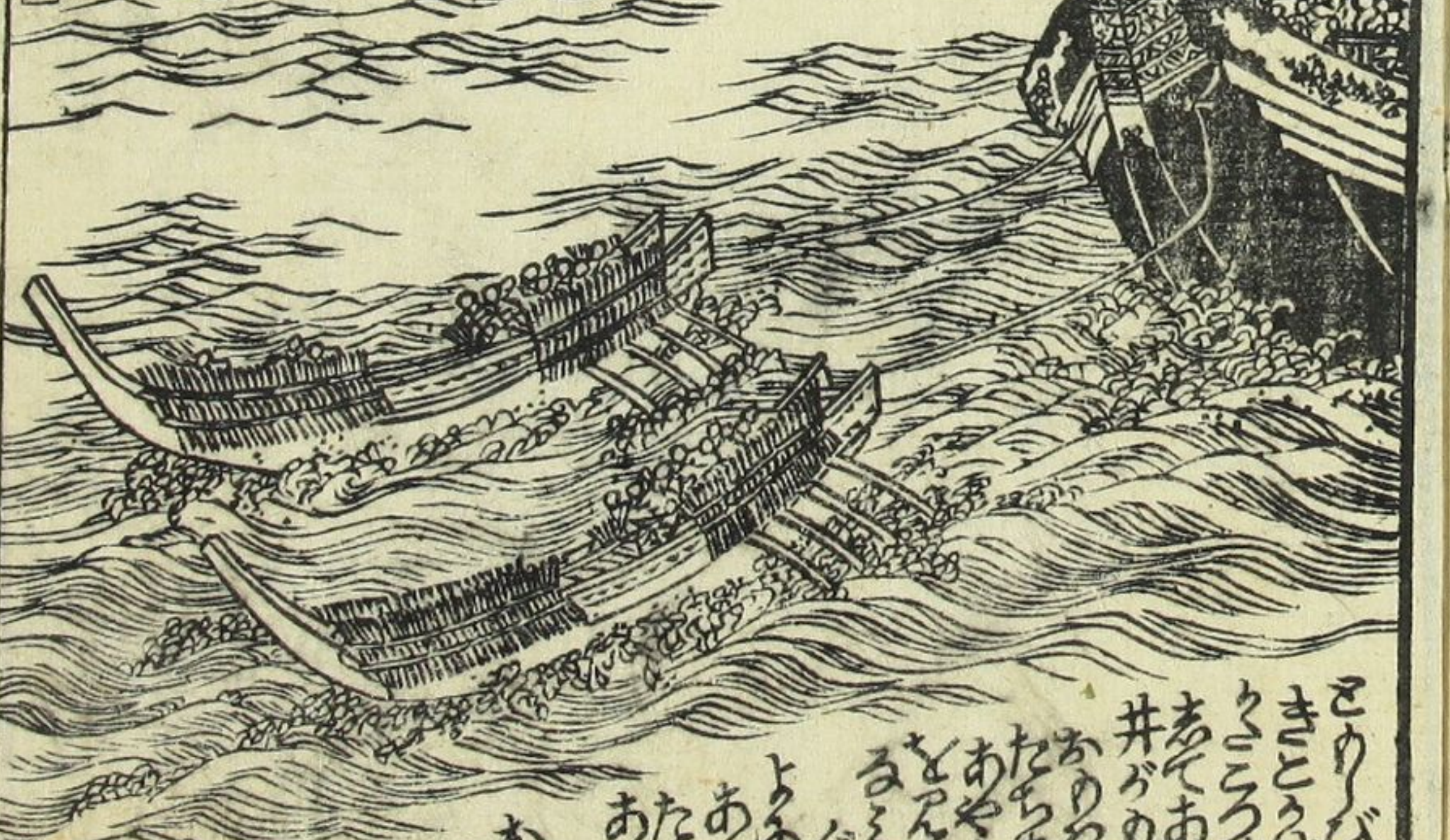
此の船は
 大船なり
 其の工の
 妙なるを
 見るに
 驚かす
 此の船は
 大船なり
 其の工の
 妙なるを
 見るに
 驚かす



此の船は
 大船なり
 其の工の
 妙なるを
 見るに
 驚かす
 此の船は
 大船なり
 其の工の
 妙なるを
 見るに
 驚かす

此の船は
 大船なり
 其の工の
 妙なるを
 見るに
 驚かす
 此の船は
 大船なり
 其の工の
 妙なるを
 見るに
 驚かす

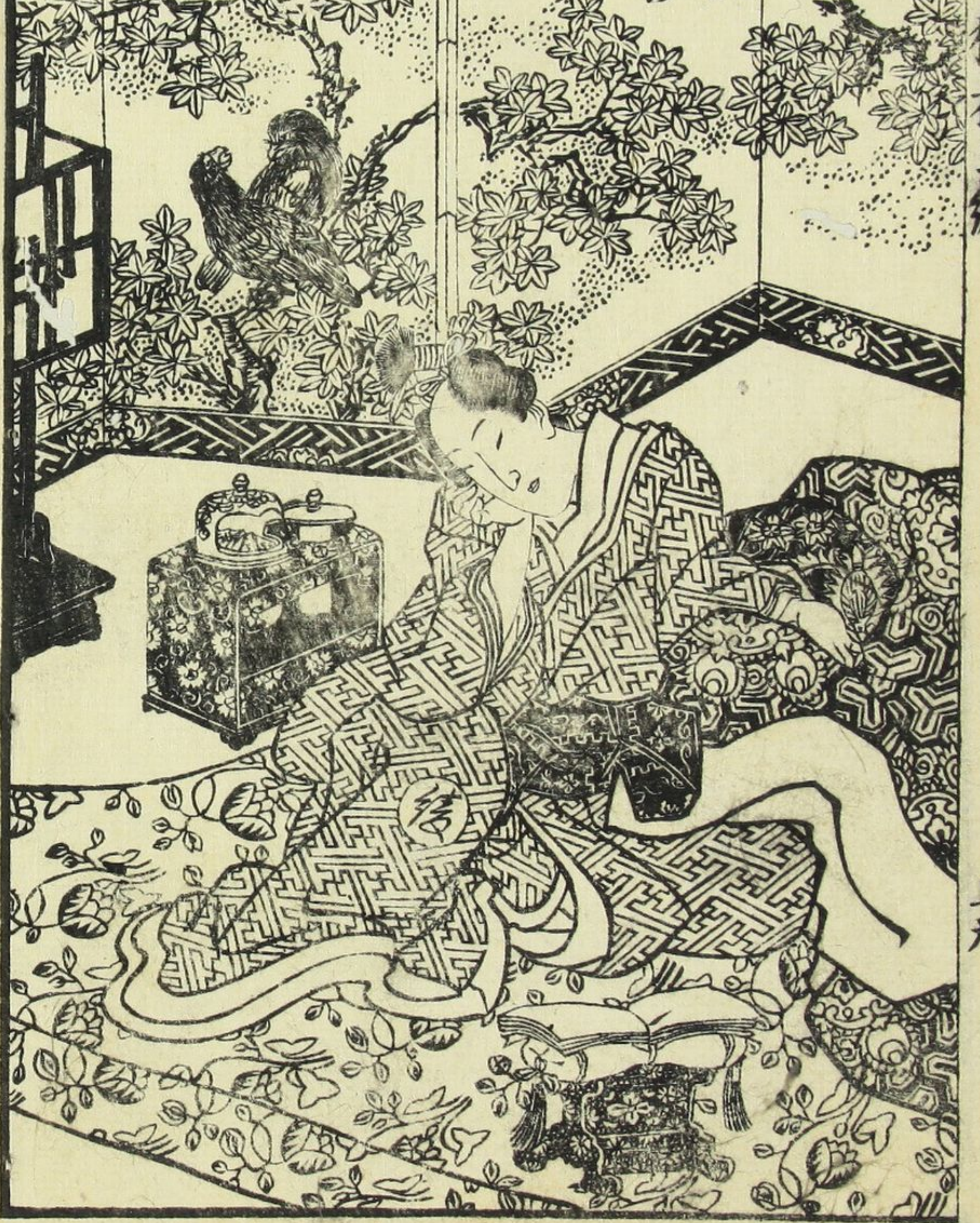
此の船は
 大船なり
 其の工の
 妙なるを
 見るに
 驚かす
 此の船は
 大船なり
 其の工の
 妙なるを
 見るに
 驚かす



此の船は
 大船なり
 其の工の
 妙なるを
 見るに
 驚かす
 此の船は
 大船なり
 其の工の
 妙なるを
 見るに
 驚かす

大船三編

ついでに子ハ
 まさけ
 子おきふ
 らのやま
 うらたま
 のあつき
 月もらうれ
 三つはつる
 初るうはち
 ことこのま
 みふふれ
 目おもたる
 ぬおも
 うはをまろ
 不ふみつせ
 とうのうら
 こきづまそ
 くみろあ
 のりも
 たうの
 さま風ち
 ばあまを
 こまの
 せきぢん
 われどつげ
 もまも



るまのあ
 たのま
 ふちをたへ
 てつぎれあ
 かもどる月
 るまのあ
 とんつてせ
 はふはあま
 めくまふ一
 たうねむら
 九十年やあ
 るまのあ
 ねとつら
 トのゆ
 人のそを
 よりも
 こちも
 ぬれそま
 かつらま
 さまのま
 名ふめま
 きえん
 まどや
 ろいて
 うらま
 あま

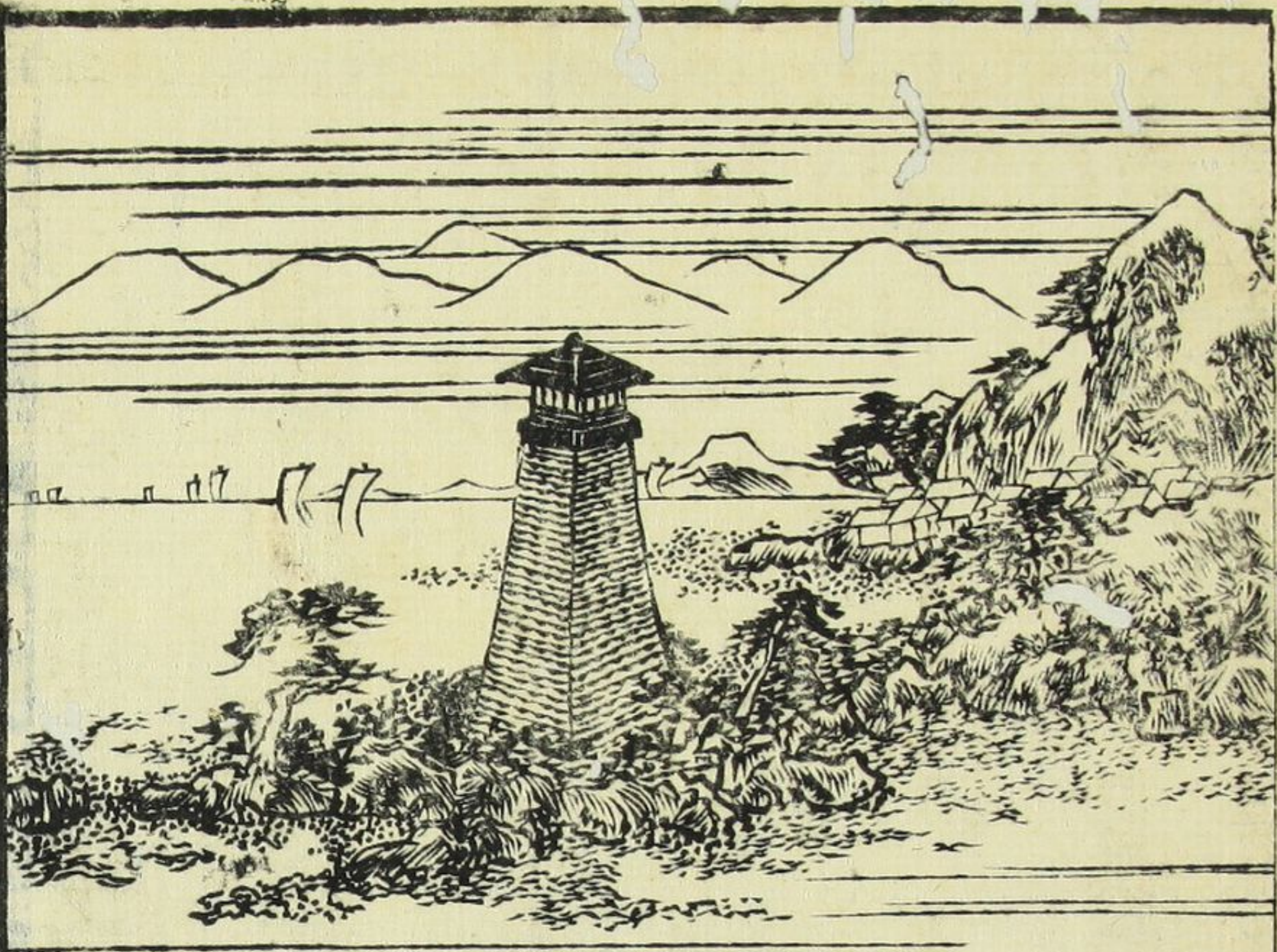


あまのあ
 けり

大正三年

三

けり



一陽齋豊國画

あやうなる目よめてりねんとあめり
 五五のほろまこと久とありくと
 尺のちのけうとくがひもるくあま
 井のちをたそくあちかま
 されどものをせしことたのすうあ
 たるああへさるるを子のはあとのり
 ちうとそんかひやうあてをてくと
 のいふことまのまことあまあま井の
 世ああままともうとあくとるまのり
 子いふままままとのとて
 ありあんとあかこのあまるとりあ
 うちすてあくまてあもあまてと
 あまののうう人あまをまをま
 あまのあまあまあまをま
 さうあまのあまあまをま
 ぐりあまのあまあまのあまあまの
 ののあまのあまあまのあまあまの
 めまのあまのあまあまのあまあまの

緑亭川柳作

江戸鹿子紫草紙

初編 文亭梅彦作
 出版 一陽齋豊國画

坂東太郎後世譚

七編 楽亭西馬作
 八編 玉蘭斎貞秀画

岸柳四魔物語

二編 楽亭西馬作
 三編 一雄斎國輝画

狭客水湖傳

初編 樂亭西馬作
 二編 一雄斎國輝画

つまぐ艸玉の盃

初編 山東庵京山作
 四編 一勇齋國芳画

新編柳樽

三編 追々集

書物錦繪問

馬喰町二丁目

山口屋藤兵衛板

